

「肺がん コンパクトパネル[®] Dx マルチコンパニオン診断システム」

研究用モジュールに関するお知らせ

2026年3月25日

株式会社DNAチップ研究所

株式会社DNAチップ研究所（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：橋本 宜明）は、2026年3月30日付で、「肺がん コンパクトパネル[®] Dx マルチコンパニオン診断システム」における研究用途の参考情報として融合遺伝子に関する CDx（コンパニオン診断）未承認のバリエーション情報の提供を開始します。

概要

当社は2026年3月30日より、「肺がん コンパクトパネル[®] Dx マルチコンパニオン診断システム」における研究用モジュールとして、以下の融合遺伝子に関する情報を研究用途の参考情報として取り扱います。

- ・ALK 融合遺伝子（CDx 未承認のバリエーション）
- ・NRG1 融合遺伝子
- ・LTK 融合遺伝子
- ・NTRK1 融合遺伝子、NTRK2 融合遺伝子、NTRK3 融合遺伝子

内容

同日の検査報告分より、医師から要望があった場合に限り、研究用途を目的として担当医師へ参考情報として提供します。

本研究用モジュールの結果は研究用途で設計されたものであり、診断又は治療方針の決定に直接用いることは想定していません。また、薬事承認されていない遺伝子変異の結果について、患者様の治療方針決定等には使用できません。もし研究用途で使用され遺伝子変異陽性の結果が得られた場合、医師の判断により、承認されている他の検査を用いて、治療薬の効果判定補助のための確認検査が実施されることはあります。なお、検査結果によっては、現時点で適切な治療法が見つからない可能性があります。

今後の展望

当社は、医療現場および研究のニーズを踏まえながら、適切な情報提供を通じて肺がん診療および関連研究の発展に貢献してまいります。今後も、法令・関連規則を遵守しつつ、検査サービスの品質向上と情報提供体制の充実に努めます。

※本お知らせは研究用モジュールに関する情報提供を目的としたものであり、医薬品・医療機器等の効能効果を宣伝するものではありません。

※本情報は医療関係者向けです。一般の方への情報提供を目的としたものではありません。

※以下は一般的な医学・技術情報であり、特定の医薬品・医療機器等の効能効果を示すものではありません。参考情報として記載するものです。

- ・ モジュールとは、個々の遺伝子を単独で解析するのではなく、目的に応じて複数のドライバー遺伝子変異を一つのセット（モジュール）として検出する設計を指します。新たな遺伝子変異を追加する場合は既存モジュールとは独立して構成され、既存の検査項目や解析結果に影響を及ぼさないよう設計されています。
- ・ *ALK* 融合遺伝子の *ALK* は受容体型チロシンキナーゼのことです。融合遺伝子が形成されるとキナーゼ活性が恒常的に亢進し、下流のシグナル経路（*MAPK*、*PI3K/AKT* など）が持続的に活性化するとされています。その結果、腫瘍細胞の増殖および生存に関与すると考えられています。非小細胞肺癌（*NSCLC*）における代表的なドライバー遺伝子異常の一つです。
- ・ *LTK* 融合遺伝子の *LTK* は *ALK* と近縁の受容体型チロシンキナーゼのことです。融合によりリガンド非依存的に活性化し、下流のシグナル経路（*MAPK*、*PI3K/AKT* など）を活性化すると考えられています。*CLIP1-LTK* 融合は、*NSCLC* において報告されているドライバー融合の一つです。
- ・ *NRG1* 融合遺伝子の *NRG1* 融合では、融合産物が *HER3*（*ERBB3*）を介して *HER2/HER3* シグナルを活性化し、*PI3K/AKT* などの下流経路などが促進されることが知られています。肺腺癌のうち *invasive mucinous adenocarcinoma*（*IMA*）での報告が比較的多く、*NRG1* 融合陽性例では、他の代表的ドライバー遺伝子異常が同時に検出されないことが多いとされています。
- ・ *NTRK1* 融合遺伝子、*NTRK2* 融合遺伝子、*NTRK3* 融合遺伝子の *NTRK1/2/3* 遺伝子は受容体型チロシンキナーゼをコードする遺伝子です。融合によりキナーゼ活性が恒常的に亢進し、*MAPK* や *PI3K/AKT* などの下流シグナル経路を活性化するとされています。腫瘍増殖に関与すると考えられています。肺癌における頻度は低い（一般に 1%未満と報告されています）ものの、ドライバー遺伝子異常の一つとして知られています。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 DNA チップ研究所 メディカルラボトリー

E-mail : clinical-support@dna-chip.co.jp

お問い合わせフォーム : https://www.dna-chip.co.jp/contact/contact_gene.php